

## 「新聞を活用し、自分の思いや考えを表現できる児童の育成を目指して」

### 霧島市立牧園小学校

#### 話し合い活動を充実させる、基となる力を育成するための取組として

#### 1 はじめに

本校は、霧島連山の麓、旧牧園町の中心部に位置し、児童数86人、教職員数15人の学校である。学習指導要領で新聞の活用が取り上げられ、新聞を読むことは学力向上につながると考える一方で、本校の実態として新聞を購読していない家庭も増え、すべての児童が新聞に触れる場を設けたいと考え、NIEの実践に取り組み始め、4年目を迎えた。



【校長室から眺める新燃岳】

1年目は、「新聞に親しむ」ことをテーマに環境設定の充実を、2・3年目は、「新聞を活用する」ことをテーマに、新聞タイムの設定や授業での取組を進めてきた。そして4年目の今年、「新聞をより身近に」をテーマに年間計画に従って、新聞タイムや授業の中で取組を行ってきた。

#### 2 本校の研究テーマとの関連

昨年度からの本校の校内研究テーマは、「自ら進んで課題を見つけ、解決につなげていく話し合い活動の在り方」である。新聞を活用し、自分の思いや考えを表現したり、新聞記事の内容を自分の言葉でまとめ伝えたりする中で、話し合いに必要な、「伝える力」や「相手の話を理解する力」の育成が図られると考えている。

充実した話し合い活動を目指して、新聞活用はもちろん、読書活動や辞書活用の取組も行っている。

#### ◎ 新聞を活用する

新聞への興味関心を高める。  
新聞記事を読んで、自分の考えを表現する。  
新聞記事に書かれている内容を、自分の言葉でまとめ伝える。

#### ○ 読書活動

読書祭り・親子読書など

#### ○ 辞書活用の取組（常に机の上に置く）

いつでも辞書を手にとることができるように。

#### 3 NIEの活動内容

- (1) 新聞タイムへの取組
- (2) 新聞を活用した授業
- (3) 新聞への投稿

#### 4 取組の実際

##### (1) 新聞タイムへの取組

###### ア 新聞コーナーの生かし方

新聞コーナーを4年教室前廊下に設置し、休み時間等自由に閲覧できるようにしている。また、新聞コーナーの新聞は、新聞を購読していない家庭もあるため、興味のある記事を自由に切り抜いて、授業や新聞タイムで使ってもよいこととしている。



【新聞コーナー】

## イ 新聞タイムの実際

朝の活動の時間（金曜日）に、学期2、3回「新聞タイム」を設定し、1～6年生まで、全校で取り組んでいる。

《1月の新聞タイム活動例》

### 1年生

#### 【4コマまんがのセリフを考えよう】

最後のコマのセリフを空欄にしておき、児童に考えさせる。そう考えた理由も記述させ、相互に見合った。

絵で説明するなど、工夫が見られた。



### 2年生

#### 【詩を読んで考えよう】

国語科で学習している谷川俊太郎さんの詩を用いた。「いじめの詩」だったので、いじめについて、話をし、音読してから、思いや感想を書いた。



児童は、自分のこととしてとらえ、「いじめ」について考える感想を書けていた。教科書に出てきた身近な作者の詩だったので、興味を持って読み進めていた。

### 3年生

#### 【新聞記事をくらべよう】

3社の新聞を見比べた。同じ日の新聞であっても写真の使い方や記事の書き方がちがうことを示して、児童に興味を持たせるようにした。

その後、数日分の新聞が読めるようにして、自分が関心ある出来事について読み比べを行った。



### 4年生

#### 【鹿児島県を紹介しよう】

鹿児島県のこと載っている記事を選び、鹿児島県の記事を紹介する文章を書き、紹介し合う。



鹿児島市内の小学校の半成人式の記事や、南さつま市の超早場米の記事など、自分たちの体験や社会で学習したことと関連する内容の記事を選んでいった。

### 5年生

#### 【この記事どう思う】

教師が選んだ記事(万引き動画の少年の記事)について、考えたことや思ったことを書く。



児童は、自己中心的な考えから社会に大きく影響する事件になることを考えていた。

## 6年生

### 【日本と外国のことを考えよう】

外国人の訪問者数のランキングを見せ、どのように外国と関わっていくとよいかを考える。治安面や文化面などについてプラス面とマイナス面両方を考える。考えてまとめたことは、朝の会の1分間スピーチで発表する。



## (2) 新聞を活用した授業

《新聞を活用した授業例》

## 3年生

### 社会科「わたしたちの市の様子」

年間を通して、霧島市のことが記事にあった場合に、その記事を配布して自分が住んでいる地域に興味を持たせた。

児童は、自分の知っている場所や参加したことがある行事について記事になっていたら、自分から説明するなどしていた。新聞と自分をより身近に関連づけることができた。

## 4年生

### 国語科「科学読み物を紹介しよう」

本単元は、教科書に掲載されている「うなぎのなぞを追って」を読み、興味を持ったところを中心に要約し、紹介文を書くという流れで学習を進める。それに先だって、新聞の中からうなぎのことが書かれている記事を探し出し、だいたいの内容を読み取って、自分の言葉でまとめ、互いに読み合った。本教材の著者である塚本さんの記事が掲載されていたこともあり、新聞をより身近に感じることができたようだ。うなぎについての興味も高めることができた。



小学生にとっては、やはり難解な語句が多く、国語辞典や漢字辞典を使いながら読み方や意味を調べたり、教師に直接たずねたりして、だいたいの内容を読み取っていった。



## 5年生

### 国語科「新聞を読もう」

本単元は、新聞の編集のしかたや記事の書き方に目を向けることをねらいとして、導入で取り扱った。

新聞を読んだ経験や新聞について知っていることを発表し、その後、新聞を見て興味を持ったことや発見したことなどグループで話し合った。最後に二つの記事を読み比べて、編集のしかたや書き方など、気づいたことを交流した。

児童は、見出しの工夫や記事の大小、発信者の違いで内容や表現が違うことなどに気づくことができた。

### その他

- ・ 国語では教科書以外での文章構成について、いろいろな書き方（逆三角形の構成や資料活用をした文の書き方）を学ぶ材料になった。
- ・ 社会科では、農業・水産業・工業の最新の情報を得て学習に生かせた。
- ・ 図工では、絵画・造形作品の鑑賞ができた。

### (3) 新聞への投稿

新聞により親しみを持つために、「ひろば」や「こどもの詩」への投稿を積極的に行っている。掲載された子はもちろんのこと、友達が掲載されることで、新聞をより身近に感じているようだ。また、掲載されることで「書くこと」に対してより意欲が増しているようだ。

## 5 成果と課題

### (1) 成果

#### ア 新聞タイムへの取組

- 新聞タイムの計画によって、発達段階に応じた指導が全職員でできた。
- 新聞タイムの作品を設営に使い、児童の新聞への関心が高くなった。

#### イ 新聞を活用した授業

- 単元によっては、タイムリーな話題を

提示することができ、導入時の児童の興味を引くための有効な手段となることが分かった。

- 新聞を活用することで、読む活動、書く活動の幅が出て、子どもたちも楽しみながら活動することができた。

### (2) 課題

#### ア 新聞タイムへの取組

△ 時間内で充実した活動となるために、事前の準備（記事を読んで内容を把握しておくなど）が必要である。

△ 家庭と連携した新聞活用の工夫

#### イ 新聞を活用した授業

△ 新聞活用の計画は立てているが、細かな部分では担任裁量となっている。

△ 授業での効果的な活用の研究。

## 6 おわりに

本校は4年目となるNIEへの取組であったが、職員の入れ替わりも多くあり、新たな研究をというよりは、今まで通りに計画してきたことを、しっかりと実践していくことで取り組んできた。しかしながら、児童は、興味を持って記事を探したり、自分の考えや感想を持って伝えたりすることが、楽しんでできているのも、4年間の取組成果ではないかと感じる。

ここ数年は、あふれる情報を正しく取捨選択し、自分の考えや意見をしっかり持つことが難しい時代になってきている。ネット上の情報だけでなく、信頼のおける新聞記事を活用し、興味関心の幅を広げ、また、身近な地域から世界の国々のことまで、正しい認識を持つことは、とても重要なことである。今後も新聞を活用して自分の思いや考えを表現できる児童の育成をめざして実践を重ねていきたい。